

林 武史

石井 琢郎

宮原 嵩広

名倉 達了

川島 大幸

森山 泰地

石川 洋樹

たわけ

Tawake

て

2023年

4月14,15,16日 / 21,22,23日 /
28,29,30日 / 5月5,6,7日

※4月14日(金) - 5月7日(日)の間の金・土・日曜日、計12日間の開催

時 間 | 10:00-17:00 観覧料 | 無料

会 場 | 岐阜県美濃加茂市伊深町592 旧櫻井邸

主 催 | 東京藝術大学 彫刻科第二研究室

後 援 | 美濃加茂市

協 力 | みのかも文化の森 / 美濃加茂市民ミュージアム、伊深まちづくり協議会

助 成 | 公益財団法人 花王・芸術科学財団、公益財団法人 野村財団

公益財団法人 十六地域振興財団、公益財団法人 朝日新聞文化財団

お問合せ | 石井琢郎 (東京藝術大学 彫刻科 テクニカルインストラクター)

連絡先 | ishii.takuro@fa.geidai.ac.jp

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

NOMURA 野村財団

公式WEBサイト
<https://tawake-sakurai.com/>



「^{たわ}戯け」とは愚かな振る舞いやどこかふざけた様子をあらわす東海地方の方言で、ネガティブな物事を笑い飛ばすニュアンスを含みます。私たちはこうした人の懐の深さ、人と人がつながり戯れることが、ポストコロナの時代のアートに必要とされる道標のひとつではないかと考えています。約3年にわたる新型コロナウイルス感染症の状況下で、私たちは何に苦しみ、悩み、問題意識を持ち、そして何を学び未来へ進もうとしているのか、多くのアーティストが思案し、次なる展開を模索しています。それは同じ時代を生きるすべての人に共通する日常的な想いではないでしょうか。「戯け」をキーワードにして、社会が抱える問題から目をそらさず、距離を保ちながらも行動し、関係性を育むことで企画の実現を目指します。



石川洋樹『Masquerade』(2021)

—— 社会が抱える問題から目をそらすことなく距離を保ち、過剰な接続を余儀なくされる時代だからこそ 軽やかに流動し見落とされた一つ一つを丁寧に紡ぐ。 ひとつの石が川をわかつようにあえて立ち止まってもいい。 もしかしたらせき止めることもあるかもしれない。 戯け者とは分水嶺に立ち、とどまる者ではないか。 ——



林 武史『水田一見沼』(2021)



石井琢郎『texture from inside』(2019)



名倉達彦『砂塵の彼方 一差し示すー』(2021)



宮原嵩広『spatial domain』(2022)



森山泰地『sewn tofu on the rock』(2021)



川島大幸『JUST STONES: 1.000kg stone and many other stones』(2022)
瀬戸内国際芸術祭 2022

ACCESS

住所：岐阜県美濃加茂市伊深町592

車で越しの方：美濃加茂 IC 出口より 15 分
会場目の前に無料駐車場があります。

公共交通機関で越しの方：
美濃太田駅北口より、あい愛バスにて約 25 分
さとやま線（蜂屋・伊深・三和方面）
「左まわり」の場合 伊深本郷下車 目の前
「右まわり」の場合 伊深交流センター下車 徒歩 8 分



あい愛バス WEB サイト

OPENINGS

座談会

出展作家と鈴木俊晴氏
(豊田市美術館学芸員)
によるクロストーク
場所 | 旧櫻井邸会場内
日程 | 4月15日(土)
時間 | 14:00-15:30

ギャラリーツアー

出展作家による作品解説
場所 | 旧櫻井邸会場内
日程 | 4月29日(土)
5月6日(土)
時間 | 各日 14:00-16:00

炊き出し

伊深まちづくり協議会
伊深ごはん研究会
による炊き出し
場所 | 旧櫻井邸会場内
日程 | 4月15日(土)
時間 | 11:30-13:00

各イベントには下記フォームより
お申し込みのご協力をお願いいたします。
<https://forms.gle/f4tUgQU1R8NoEJsY9>

